

□最近の活動状況

【定期講演会】

—3月23日(木) ホテル福島グリーンパレス—

(一財) とうほう地域総合研究所、(公財) 福島県産業振興センターとの共催、(株) 東邦銀行の協賛、福島民報社と福島民友新聞社の後援による「とうほう地域総合研究所設立 40 周年記念講演会」を開催し、会員の方々をはじめ約 200 名の方が聴講しました。

講師に中央大学法科大学院教授で弁護士の野村修也先生をお招きし、「『新しい資本主義』とは何かーSDGs がビジネスを生む」というテーマでお話しを頂戴しました。道路交通法の改正により需要が高まった



講師 野村 修也 氏

ノンアルコールビールを例に挙げ「社会の課題解決が、新しい市場を創造し、新たなビジネスチャンスを生み出す」と分かりやすくご説明いただきました。

また、「課題先進国の日本はビジネスチャンスの宝庫であり、特に福島はいろいろな課題を持っている地域。取り組む課題がたくさんあるということは、ビジネスチャンスがあるということ。そのビジネスチャンスに気付くことが大事。世界にとって、福島の認知度は高く、その福島から課題解決に立ち上がった企業に世界は必ず注目する。福島を出発点として新しいビジネスを生む時が来ている」とお話されました。



【第1回朝食勉強会】

—4月11日(火) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講師 福島市副市長 斎藤 房一 氏

テーマ 「令和5年度当初予算の概要」

参加会員数 52名

新型コロナウイルス感染症の出口を見据えた「ポストコロナへのチャレンジ予算」として編成された令和5年度の一般会計当初予算について、物価高対策、安全安心なまちづくり、子育て・教育、産業振興、賑わい・文化、デジタル、ゼロカーボン、移住・定住と女性活躍の8つの主要プロジェクトごとに新規事業の詳細を分かりやすくご説明いただきました。



講師 斎藤 房一 氏

【第2回朝食勉強会】

—5月9日(火) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講師 高島 英也 氏(サッポロビール株式会社 元代表取締役社長)

テーマ 「私と福島の、これから」

参加会員数 54名

(講演要旨)

2003年7月に新創業したサッポロビール社の立ち上げ。そこに参画させてもらった当時の私の無我夢中状態から本日の話を始めたいと思います。

スポーツでも、学業でも、そして仕事でも同様に、どこかで気づかぬうちに無我夢中になって打ち込んでいたご経験が、皆さんにもあったのではないのでしょうか？

2021年5月から2022年3月までの土日を中心に、東京都内の施設で不登校の生徒たちと交流する37回の機会がありました。その中で、生徒が「気づき」、「無我夢中になる」経験を得ました。加えて、「ダメ人間」だった私の社会人駆け出しの頃も振り返ってみて、人と組織に、自律的な気づきがどのように生じるのか？を改めて考えてみました。そこが、自分と福島の今後に必要な、全ての変革行動の起点になると考えるからです。

私が福島にこれからどのような領域で貢献できるのか？これまでの63年を振り返ると、私の得意技は、唯一、“人を元気にできること”だけかもしれない？と思います。とにかくまずはその視点で無我夢中で動き出してみようと考えております。

最後に、これからの日々の活動の心がけを皆さんに宣言させていただきます。

どうぞ今後とも、よろしくお願いいたします。



講師 高島 英也 氏

今、思いつく心がけ



- > 生きているだけで幸せと思う。(東日本大震災)
- > 笑顔&挨拶。(母)
- > あなたは頭が悪いから勉強しなよ。(母)
- > 私利私欲を捨てる。忘己利他。(塚越さん)
- > 遊びは遊び。ひたすら一緒に遊ぶ。(カトリバ)
- > 聴く。手を止めて、話しかけてくる人に身体を向けて。(菊地さん)
- > 現場を歩く時は、ゆっくり歩く。(福永さん)
- > 葛藤を怖がらずに言い切る。Creative Conflict。(藤森先生)
- > 戦争もない今。元気があったら、何でもできる。(祖父、父)

【私の使命】

人と、組織に、自律的な『気づき』を促し続ける

【福島市長、福島公共職業安定所長による要請】

—5月26日(金) —

福島市及び福島公共職業安定所より「新規高等学校卒業者に係る求人確保」ならびに「多様化する働き方へ向けた雇用環境の整備及び経済・物価情勢に見合った継続的な賃上げ」の要請があり、「民報ビル」にて木幡市長と菅野所長から北村代表幹事、芳見代表幹事に要請書が手渡されました。



□今後の予定

【第3回朝食勉強会】 日 時：2023年7月11日(火)
 会 場：クーラクーリアンテ・サンパレス
 講 師：株式会社陽と人 代表取締役 小林 味愛 氏

【第4回朝食勉強会】 日 時：2023年8月8日(火)
 会 場：クーラクーリアンテ・サンパレス
 講 師：ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林 利彰 氏

□事務局だより

○2023年3月から5月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

新規入会		2023年4月入会 <small>たけだ ひろかず</small> 武田 博和 積水ハウス建設東北(株) 南東北支店 支店長		
		2023年3月交代 <small>たなべ なおゆき</small> 田辺 直之 (株)東邦銀行 常務執行役員本店営業部長		
会員交代		2023年4月交代 <small>やなぎだに よういち</small> 柳谷 葉一 野村証券(株) 福島支店 支店長		2023年4月交代 <small>かまた もりやす</small> 鎌田 守康 (株)帝国データバンク 福島支店 支店長
		2023年4月交代 <small>さつま つよし</small> 薩摩 剛 (株)秋田銀行 福島支店 支店長		2023年4月交代 <small>おかの ともよし</small> 岡野 友嘉 損害保険ジャパン(株) 福島支店 支店長
		2023年5月交代 <small>さかい たかとし</small> 酒井 敬俊 大和証券(株) 福島支店 支店長		2023年5月交代 <small>いしだ あきら</small> 石田 朗 三井住友海上あいおい生命保険(株) 福島生保支社長
		2023年5月交代 <small>まへだ ゆうき</small> 前田 祐希 オリックス(株) 郡山支店 支店長		2023年5月交代 <small>くどうら としき</small> 工藤 俊樹 富士通Japan(株) 東北支社 支社長
		2023年5月交代 <small>い で たかとし</small> 井出 孝利 福島県信用保証協会 会長		

引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(2023年6月9日現在 会員数 103名)

編集日誌

◇「ふくしまシティハーフマラソン2023」が5月に福島市で初めて開催され、県内外から約5,000人のランナーが参加しました。ボランティアとして沿道の交通整備をしていましたが、最後まで走る姿に元気ももらいました。(今野)

□会員企業紹介 【第34回 第一温調工業株式会社】

今回は、第一温調工業株式会社の大内社長にインタビューしました。当社は、建物の空調や給排水設備をトータルでサポートしており、創業の経緯や人材育成についてなど様々なお話をお聞きすることができました。

○創業の経緯

福島市で業務用の冷凍庫・冷蔵庫を製造・販売する会社に勤めていた初代社長の斎藤文義が、当時、普及しはじめた冷暖房の工事を請け負うため独立し創業しました。



大内 弘之 代表取締役

社名を決める時、「第一」はスムーズに決まりましたが、「空調」か「温調」どちらにするか社内で議論になりました。「冷暖房はメインだが給排水設備工事に関わる仕事をする会社であれば『第一温調工業』とすることによって社会の変化に対応できる」との初代社長の発言で現社名が決まりました。

○総合設備のプロフェッショナル

当社は、福島市など県北地域を拠点に新築・改築問わず建物の空調や換気設備、給排水・衛生設備の設計から施工・修理・保守・管理業務を担っています。官公庁施設、医療施設、クリーンルームを含めた工場など、公共工事から民間工事まで請け負っています。建物は、完成させて「終わり」ではありません。長く使用することによって劣化などの不具合が起き、修理が必要になりますので、メンテナンス・修理専門スタッフを充実させ、心を込めてサービスを行っています。

○公共・社会に貢献する

地域への恩返しが、会社としての大きな経営理念の一つです。社業を通じ社会に貢献するために、「お客様を一番に考え、精一杯対応してほしい」と社員に話しています。社員が仕事に専念できるよう、私は、社員とその家族を全面的にバックアップしていくことを心掛けて参りました。県北地域に根付いて、1968年の創業から今年で55年。これからも地域に必要とされる企業でありたいと考えています。

○仕事と子育て両立支援

2018年6月、当社が加入している「福島卸商団地協同組合」が中心となり企業主導型保育施設「みらい・ゆめ保育園」を団地内に開設しています。当園では、契約する地域の企業に勤める従業員の子供たちと、

地域で保育を必要とする子供たちを預かっています。専任の看護師と保育士が常駐している病児保育施設も併設されていますので、子育てしながら安心して働ける環境が整っています。

○一社会人として

業務上必要な資格取得に際して、費用などを会社が負担し、取得後は手当・報酬にも確実に反映しています。企業人である前に一人の社会人として、最低限の知識や教養を身につけて欲しいとの思いで、様々な学ぶ機会を提供しています。コロナ禍以前は、ゴルフコンペや旅行、慰労会などを定期的に開催していました。このような取り組みは、社員同士の交流を図るだけでなく、お客様との話題作りや教養を身につける機会にもなります。

○未来の暮らしにつなげる

新型コロナウイルス感染症で問題になった「換気」は、当社の仕事と密接に関連する要素でしたので様々な影響がありました。当社が携わっている建築設備業は、時代とともに、またテクノロジーの進歩とともに大きく様変わりをしております。日進月歩あるいはそれ以上のスピードで業態を変化させなければならない時もあります。これまで築き上げてきた歴史を見失うことなく、地域に密着した企業として、地域のお客様のニーズを的確に捉え素早く対応できるように、これからも技術力と真心で常に品質の向上に努めて参ります。



住 所 〒960-0102 福島市鎌田字卸町 15-1
 創 業 1968年10月
 従業員数 29名
 T E L 024-553-2100
 U R L <https://onchopublis.co.jp>

